

平成19年度 事務事業評価表

事務事業名	農村文化センター維持管理事業	コード	H19-A-03
		主管課局	総合政策課
		担当名	財政管財担当

1. 事務事業の概要

計画体系	(章)	6. 開かれた行財政づくり	予 算 費 目	(会計)	一般会計
	(節)	6-1 行財政運営の効率化・高度化の推進		(款)	総務費
開始・終了年度	(開始)	昭和45年度		(項)	総務管理費
	(終了)	-		(目)	財産管理費
事業の種類	<input type="checkbox"/> 自治事務(任意) <input type="checkbox"/> 自治事務(義務) <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
根拠法令等	<small>はじ</small> 平成18年7月1日廃止・・・美里町農村文化センター管理規程、美里町農村文化センター運用規程				
統合の検討可能な関連・類似事業					
内容と目的	住民の交流の拠点として設置された				
現状と結果	老朽化が激しいが、現在は、住民税の申告会場、選挙の期日前投票所、心配ごと相談、献血会場として利用されているほか、オンブズマン室が設置されている。				
課題と改善	耐震の観点から考えると、大規模地震に耐えられるか問題がある。補強する、又は新たに建築することが望ましい。				
住民意見	住民税の申告会場として、2階を利用しているが階段の昇降の不便さが指摘されている。また、トイレもバリアフリーではないため不便である。				
対 象 数	\		平成16年度	平成17年度	平成18年度
	町民使用日数		62日	58日	47日

2. 経費

		平成16年度	平成17年度	平成18年度	
事業費 (千円)		184	177	135	
財源 内訳	受益者負担	0	0	0	
	国・県支出金	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	
	一般財源	184	177	135	
備考	電気料・消防設備点検委託料・建物共済保険料				

3. 1次評価

評価項目と評価の視点			評価・評価コメント			
妥当性	(1) 事業の必要度	社会環境や住民ニーズなどかの変化により事業の必要性や役割は変わっていないか	コメント	変わっていない	一部変わった	変わった
	(2) 対象設定の妥当度	事業実施の目的として対象者は妥当か特定の団体や個人に偏っていないか	コメント	妥当である	あまり妥当でない	妥当ではない
	(3) 実施主体の代替度	事業を町以外(民間や国・県など)に任せることができるか	コメント	可能でない	一部可能である	可能である
有効性	(1) 成果の達成度	事業の実施により初期の目的や目標をどの程度達成しているか	コメント	達成していない	一部達成している	達成している
	(2) 事業の見直し度	成果の状況を踏まえ、事業内容を見直す余地はあるか	コメント	見直す余地はない	検討の余地がある	見直す余地がある
効率性	(1) 行政コストの削減度	経費節減によりサービス水準を低下させずにコストを下げることができるか	コメント	できない	検討の余地がある	できる
	(2) 効率性の向上度	事業の効率性を上げるため他の事業との統合や事務の省力化など見直しの余地があるか	コメント	見直す余地はない	検討の余地がある	見直す余地がある
	(3) 受益と負担との相関度	行政サービスの内容と負担を比較して、受益者負担の適正化の余地があるか	コメント	適正化の余地はない	検討の余地がある	適正化の余地がある
総合評価		1. 見直しの必要なし	見直しの必要あり 2. 改善 3. 充実 4. 縮小 5. 統合 6. 廃止			6
予算反映		1. 現状どおり	2. 増額 3. 減額 4. 廃止			4
評価理由		老朽化が激しいため、耐震補強工事を行った際の費用対効果や建物の耐用年数を考えると、取り壊しが好ましい。ただし、現在も申告会場等として利用されているため、それらの業務に支障のないよう取り壊しを検討していく必要がある。				

4. 2次評価

総合評価	1. 見直しの必要なし	見直しの必要あり 2. 改善 3. 充実 4. 縮小 5. 統合 6. 廃止	6
予算反映	1. 現状どおり	2. 増額 3. 減額 4. 廃止	4
評価理由	老朽化が激しく早急に取り壊しが必要である。現在期日前投票所や申告受付会場として使用しているため、補助金などを有効に活用しつつ、代替の建物を建築する必要がある。		

5. 外部意見聴取

評価に対する意見	耐震性の問題があるが、耐震補強などをするには莫大な費用がかかることを考えると、廃止することは止むを得ない。
----------	---